

何を使う

機器 スマートフォン、タブレット、PC

ソフトウェア（アプリ）

色のシミュレータ（無料アプリ）



それをどう使う（それで何ができる）

- ・スマートフォン等の付属カメラを通して見た景色や、画像ファイルを、様々な色覚特性を持つ人がどのような色に見えるのかを、リアルタイムで体感できる。
- ・1型（P型）、2型（D型）、3型（T型）の2色覚の色の見えをその場で一般型（C型）の色の見えと比較することができる。
- ・板書のチョークの色や授業で使う図版等の色が、色覚特性を持つ生徒にどのように見えるのかを事前に確認できる。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

高校 物理「光」など

【 Before 】

- 赤はなるべく使わないなど、板書時のチョークの色使いに配慮した。



【 After 】 メリット

- 板書の色使いについて、蛍光チョークなどの多様な色味についても事前に確認できる。
- 1型～4型の色の見えの違いに配慮できる。
- インクルーシブ教育に関する教員研修に活用できる。
- 授業のユニバーサルデザインを意識した教材作りへの応用が期待できる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他	学習 場面	一 斉	個 別	協 働
	○	○	○			○	○	○
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続		1人1台端末		
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		全ての教科	
	○	○	○	○	活用が想定される場面		板書、資料作成	